



コミュニティ推進協議会

高齢化や人口減少など変化する地域社会への対応

日立市コミュニティ推進協議会はまもなく発足から40年が経過しようとしています。高齢化、町内会への加入率が低下、多様化する市民ニーズなどの課題に対応するため、3年前に「行政とコミュニティ活動のあり方検討委員会」が提言した指針に基づき、各種委員会を設けて検討しており、今年度は集大成の年となります。

現状と課題

コミュニティでは各種課題や活動の担い手不足などが顕在化しており、コミュニティ単独で対応していくことが難しい状況となりつつあります。

市民一人ひとりがコミュニティに関心を持ち、活動に参加することは勿論のこと、市職員もコミュニティの一員として地域行事等に参加することで、地域の実情を知ることができます。市民と行政が役割分担し、共通の目標と合意形成を図りながら協働によるまちづくりを進めることが重要となっています。

新たな事業への取り組み

コミュニティ活動の基本は単会が地域性を活かしながら、地域福

祉、環境美化、青少年育成、交通安全、防犯、自主防災など、住民と共に時代に合った活動を自主的に展開することです。

しかし、近年、単会共通の課題が山積し、コミュニティ推進協議会が市と共に検討を進めています。「行政とコミュニティ活動のあり方検討委員会」の提言である、再生資源回収システムは、高齢者等に配慮した新たな回収システムの事業化へ向けて、昨年度に引き続き実験を実施します。

防犯灯の維持管理についても関係課と協議して支援策の検討をするほか、27年度日立市政に対する要望書を提出します。「敬老会あり方委員会」では来年度以降の敬老会について検討しています。



各学区(地区)の会長が集まる会長会議

一緒にまちづくりをしましょう！

お問合せは交流センターへ

地区・学区	会長	交流センターTEL
十王	深津 正孝	39-2411
豊浦	立川 伸平	43-5755
日高	志賀 勝弘	42-4050
田尻	大森 健一	42-1552
滑川	遠藤 進	22-1654
宮田	田尻 久	27-6835
中里	石川 諒一	70-8005
仲町	福地 稔昌	21-5564
中小路	矢部 敏晴	22-6483
助川	秋山 竹彦	23-0955
会瀬	柴田 和彦	25-1577
成沢	藤井 正孝	35-5587
油繩子	益子 功喜	38-7531
諏訪	持田 幸雄	33-3841
大久保	作山 英一	34-0535
河原子	小又 義康	33-3746
塙山	西村ミチ江	34-5404
大沼	大江日出雄	35-8329
金沢	泉 聡二	36-3985
水木	佐藤 孝志	52-3225
大みか	村山 達男	53-5211
久慈	須田 昭	52-0165
坂下	井上 充宏	52-3155

市民の消費生活 悪質商法被害防止カルタの出前講座

市では、市民の消費生活の向上のために日立市消費生活サポーターを平成24年に設置しました。

サポーターは、コミュニティが推薦した人や養成講座の修了者、市長が認めた人など合計31名。

消費者被害等の未然防止の啓発活動を実施しており、消費生活サポーターを講師に、悪質商法の手口やその対処方法などを楽しく学べる「カルタの出前講座」も行っています。カルタは高齢者から子どもまで参加できるように工夫しています。5人以上であれば、無料で交流センターや集会所などで出前講座を行っています。

中里交流センターの中里長寿大学で行われた出前講座には70代



絵札に合わせて読むのは2回！！

～80代の54名が受講しました。

講師のサポーター4名は、サポーターの役割と消費生活センターの場所と機能、だまされ度チェック、講師の朗読劇(太陽光発電とオール電化の契約)クーリングオフ制度の説明、カルタ大会(カルタによる啓発)、替え歌「断り上手になる歌」を唄いました。

うまい話を信用しない。

そうだんする。

つられて返事しない。すぐ契約しない。

きっぱりはっきり断る。

「不安に思ったら消費生活センターに相談しましょう」という言葉にうなずきながらの講座でした。

昨年**の結果踏まえ** 2年目の**実験** 再生資源回収システムの課題解決に向けて

現在実施している再生資源回収システムが、高齢化や町内会への加入率低下などによって、立ち当番の負担感や担い手不足等の問題などの課題が生じてきました。市民の負担軽減と利便性の向上を図るため、再生資源回収システムの今後の方向性をまとめるため、昨年度に引き続き今年度もコミュニティが協力して4種類の実験を行っています。

1 立ち当番者を置かない (7月～9月)

資源回収場所に立ち当番を置かない実験で、当番者は用具配置と回収のみを行います。回収終了後に清掃センターが適正排出度と分別精度(ビン類の色分け)の調査をします。この実験は資源回収日に合わせて8単会が実施しています。

2 地域拠点回収 (8月～10月)

実施単会が、排出可能な拠点場所を1か所選定して、回収容器を配置して指定の資源物を回収します。回収物は一時保管し、単会が資源回収日に集積所に出します。

市の敬老会のあり方を検討

各学区では9月に例年通りの敬老会が開催されます。

現在の対象年齢は75歳以上で、平成25年度には約2万5千人でしたが、10年後に約3万5千人となり、対象者が1万人程度増加する見込みとなっています。

今後の敬老会の開催方法等の転換が求められているところです。

市は「敬老会あり方検討委員会」を設置し、コミュニティから、検討委員に各学区1名ずつが推薦され、検討を進めています。

検討のための基礎資料として、



子どもたちも一役

3 休日拠点回収 (8月～10月の指定した日曜日)

市が指定した7か所の拠点場所で資源物を回収し、休日拠点回収の必要性等を検証します。市民の皆さんはいずれの場所に出してもかまいません。

■回収場所と回収日 ■回収時間：いずれも午前9時～10時30分

1	市役所南駐車場(臨時庁舎前)	8/3	9/7	10/5
2	市民運動公園臨時駐車場	8/3	9/7	10/5
3	十王交流センター	8/10	9/14	10/12
4	ホームック日立店駐車場	8/10	9/14	10/12
5	河原子漁港前駐車場	8/24	9/21	10/19
6	市営金畑住宅敷き公園	8/24	9/21	10/19
7	日立港都市再開発用地(久慈サンピア日立脇)	8/31	9/28	10/26

敬老会の内容、対象者年齢、祝い品等について、幅広い年代層の市民の意見を聞くため、6月に各学区約100名(計2021名)の方にアンケートを実施しました。

今後、アンケート集計結果を参考にして検討し、本年中には委員会として方針を決定、来年度以降の敬老会に反映していく予定です。

各賞受賞!3つの学区コミュニティ

今年度、3学区コミュニティが国や県などから表彰されました。

いずれも各学区コミュニティの長年に亘る、ユニークな地域活動の努力と実績が高く評価され、受賞となりました。受賞を機にさらに地域ニーズに沿った活動が展開され、全学区に広く波及していくことが期待されます。

■日高学区市民自治会・東連津川(とうれんづがわ)をきれいにする会 代表:志賀勝弘会長
「河川功労者表彰」日本河川協会

この回収実験には23単会派遣の協力員が支援しています。利用度や必要性などを検証します。

4 戸別回収 (8月～10月)

実施する5単会が、身体の不自由な高齢者等の世帯を選定します。戸別回収して利用状況と回収量を確認する実験です。

※これらの実験の結果は11月上旬ごろにまとめられます。

より

<概要>東連津川河川敷の除草や清掃活動と児童の体験イベントなど、約130名の地域会員による活動の継続的実施が評価された。

■塙山学区住みよいまちをつくる会

「地域福祉優秀実践賞」日本地域福祉学会より

<概要>住民アンケートに基づくコミュニティプランにより、自主防災組織づくり、高齢者の見守り支援体制、生涯学習などの活動や、相乗りタクシー、移動スーパー事業など、地域活性化活動の継続的実施が評価された。

■宮田学区コミュニティ推進会
「教育功労団体表彰」茨城県教育会より

<概要>地域の識者、郷土史家などによる児童への郷土の歴史・文化財の学習支援や地域文化財の体験学習、宿泊学習など、支援イベントの継続的実施が評価された。

合併10周年記念

「十王まつり」で明るいまちづくり

この夏も猛暑になりましたが、暑さを吹き飛ばす勢いで各地区では夏祭りが開催されました。

十王町と日立市が合併して10周年の節目の年にあたり、記念事業として8月3日に「第25回十王まつり」が盛大に開催されました。花火打ち上げをはじめ、十王駅前公園等では歌や演奏、十王音頭流し踊りなどが行われました。十王川では徒歩鵜漁の再現、魚のつかみ取りなどが行われました。

合併以前の十王まつりは行政主導で運営されていましたが、合併に伴い、運営は十王地区コミュニティ推進会に委ねられました。行政主導の16年間は組織的にも予算的にも充実した内容で実施されてきましたが、コミュニティ推進会の運営に変わってから数年間は、個々人の諸事情が大きく前面に出

て、コミュニティ活動に対する無関心、理解不足などがあり、大変な時期で試行錯誤しながら継続されました。

地域住民の連帯感や自主防災組織の強化などを図るために、コミュニティのいくつかの事業の中から、毎年開催している十王まつりに焦点を当てることになりました。



まつりで深まる絆!

「十王まつり」は十王地区コミュニティ推進会が中心となって実行委員会を組織し、広く地域住民から意見を取り入れ、「十王らしさ」を意識した地域の祭りとして定着しつつあり、先のアンケート

では住民の80%が祭り継続を望んでいます。

今年は合併10周年記念として創意と工夫を凝らし、地域の活性化を目的として開催されたところです。昨今どこのコミュニティでも課題となっている自治会や町内会から抜ける、入会しないといった傾向が見られますが、こんな時こそ夏祭りなどを開催することでコミュニティ活動や自治会組織の重要性や大切さが再認識され、明るいまちづくりに結びついていくものと考え実践されています。十王地区コミュニティ推進会の特徴は、15支部の支部長が中心になり、各支部から係や担当を選出、多くの人の方で事業が展開されているところです。この輪がさらに大きくなることを期待します。

市の新任職員 コミュニティ活動を研修

日立市では職員研修の一環として、新任職員を対象に、コミュニティ活動に対する理解を深めるための取組を行うことになりました。

この研修は、コミュニティ推進協議会および各コミュニティの協力のもと、9月から11月にかけて、原則、職員の住所地の属する学区(地区)において、コミュニティが日ごろから行っている活動や行事等にスタッフとして1日参加するもので、今年度においては、32名が参加します。

研修の目的は、コミュニティの役割や現状を認識し、職員としての資質向上を図ることではありますが、今後、コミュニティ活動の担い手不足が懸念される中で、職員が一人の地域住民としてコミュニティ活動に参加する契機としても効果が期待されています。

国の委託事業を活用

コミュニティ活動の人材確保

中小路学区コミュニティ推進会は、昨年度から文部科学省の委託を受け、「地域おこしの後継者養成事業」として、コミュニティ活動を担う人材を発掘・養成するプログラムに取り組んでいます。



担い手養成講座 ワークショップ

人口減少や少子高齢化が進行し、地域力の低下が懸念されているという現状を踏まえ、「地域振興支援プログラム委員会」を立ち上げ、次のプログラムで取り組みました。

1 チラシ、広報紙、フェイスブックおよび口コミなどで、「人材

の掘り起こし」を行う。

2 和太鼓の「なかこうじお囃子隊」を育成し、各種イベントなどで活動する。

3 筑波大学と連携し、「担い手養成講座」を開催する。

4 清掃・防犯活動に参加する「地域活動体験研修会」を開催する。

「なかこうじお囃子隊」に15名が参加し、学区の新年会で演奏を披露したほか、「担い手養成講座」や「地域活動体験研修会」の参加者からは、コミュニティ活動を見る目が変わったという意見が多く聞かれ、コミュニティの役員として活動を始めた人もいます。

今年度は、昨年度の成果を踏まえ、小・中学生や高校生の参加者を募り、コミュニティ活動の後継者を養成するとともに、世代間の交流や既存事業の見直しにも取り組む予定になっています。



友好都市山形県山辺町の子どもたちとの交流

今年は日立市と山辺町友好都市提携10周年の年にあたり、記念式典などが開催されました。

8月9日には、山辺町の子どもたち44名が「ひたちと宇宙の旅」と題してシビックセンター科学館を見学、その後、会瀬青少年の家に宿泊しました。



「パンボン」で交流

両市町の交流プログラムでは山辺町の子どもたちが、恒例になった会瀬学区コミュニティ推進会青少年育成部事業「おおせ元気っ子クラブ」の子どもたち30名と交流しました。

元気っ子クラブの子どもたちの代表が「ようこそ日立へ。短い時間ですが、楽しい活動にしましょう。」と挨拶。その後、日立発祥のスポーツ、「パンボン」のルール説明を受けてダブルスで対戦しました。決勝戦まで仲良くプレーして大いに盛り上がりました。

夕食は山辺町の参加した保護者と、元気っ子スタッフが交流しな



おいしくできたコラボカレー

がら、茨城県の常陸牛と山形県のお米“つや姫”を使って、友好都市コラボカレーライスを作りました。カレーはとても美味しく、鍋が空っぽになるほど好評で、山形県特産のラ・フランスのジュースもご馳走になり、楽しいひとときを過ごしました。

来年は元気っ子クラブが山辺町を訪問できればいいなと思います。

「日立の魅力再発見ウォーク」のお誘い

私たちの住む日立は東に太平洋、西は多賀山地に挟まれた南北に細長い地形です。

この地には太古の昔から人が生活し、自然の造形に恵まれ、史跡や名勝も数多く残っています。また、最近茨城大学の研究グループにより多賀山地の各所に露出する日立変成岩は5億年前のカンブリア紀のもので日本最古の地層であると判明しました。

夢とロマンを求めて、健康増進のためにも市内各地を探索してみませんか？きっと思わぬ発見があると思いますよ！

今年も各学区のコミュニティが市民のみなさんのために企画して自然や歴史をめぐる魅力的な探索コースを準備した「日立の魅力再発見ウォーク」を開催します。

詳細は、9月20日号の市報、

日立市コミュニティ推進協議会や日立市公式ホームページでお知らせします。お住まいの学区以外の再発見ウォークにも是非ご参加してみてください。



自然や歴史をめぐる(昨年の様子)

百年塾フェスタ2014 コミュニティの“いいね”を展示

10月5日(日)に日立シビックセンター・新都市広場・マープルホールで、百年塾フェスタ2014が開催されます。今年のテーマは「遊んで、学んで、ひたちの“いいね”」です。

各学区コミュニティも「コミュ

ニティの“いいね”パネル展」に参加・協力します。昨年の北部の8地区(学区)の参加に引き続き、今年は、中部の中小路、油繩子、助川、諏訪、会瀬、大久保、成沢、河原子の各学区コミュニティのパネルが展示されます。それぞれの学区の特徴や魅力があふれる、“いいね”が詰まったパネルを現在作成中です。

フェスタ当日、ぜひ会場でご覧ください。

また、百年塾フェスタでは、ほかにも各種団体や機関などが参加し、さまざまな“いいね”が大集合します。ぜひ、楽しみながらたくさんの方の日立の“いいね”を再発見・体感しましょう。

百年塾フェスタ2014の詳細は、9月5日号市報や、各交流センターに設置配布してあります、私たち生き生き百年塾の機関紙「ひろば」をご覧ください。